

平成13年1月1日発行 毎月1回発行 昭和31年9月12日第3種郵便物認可 第46巻第1号通巻577号

商店建築 1

SHOTENKENCHIKU
Jan. 2001 Vol.46 No.1

特集①

個性化時代のフードコート

特集②

スペシャリティー・カフェ

店づくり最前線

レトロ感覚の店





1階ミュージックチューブにはセレクトCDを陳列（デザイン／安積 伸&朋子）奥はカフェレストラン

撮影／平井広行

ミュージックチューブ内部。円筒形の壁にステンレスワイヤが六角形を描きながら張り巡らされている

ライフスタイル提案ショップ&カフェレストラン リステア

兵庫県神戸市中央区北長狭通3丁目1-15 トアロード昭とビル1・2階

設計／大塚ノリユキデザイン事務所 大塚則幸 田中陽子
 協力／設計監理 エヌプラン 鳴海由美子
 照明設計 ウシオスペース 安原正樹
 ミュージックチューブデザイン 安積 伸 安積朋子
 アート 飯盛雅子
 施工／美留土

Boutique & Cafe Restaurant RESTIR, Kobe
 Designer Noriyuki Otsuka

「雪中の狩人」をイメージ
 フランドル派の画家ピーテル・ブリューゲルの作品である「雪中の狩人」はネーデルランドの厳しい極寒の風景を描いた傑作である。鉛色の空の下、凍てついた自然は雪に覆われやせ細った獵犬と連れだった狩人は家路をたどる。氷が張った湖では村人たちが降雪のな

い限られた時間を使い遊んでいる。冬枯れした樹木の周りを一羽の黒い鳥が青白い空気をつんざいて飛ぶ。
 自分が20歳前半のころ、真冬のヨーロッパの美術館で鑑賞した作品である。青年期の体験は多感な時期の半透明な心に降り積もる雪のごとく積層した。今でもデザインを行うとき

はそのころの風景が、自分がいた場の匂いも含め蘇る。この北国の美術作品は自分のイメージサイトの中心を担っているのだろう。
 その思いを反映したデザインを行った。青白い光の下、真っ白な床と壁は紅を落としたグレイ色の天井に北国的なコントラストを与え、空気に張りりと浮遊を表現した。1階の中



入り口側から1階店内を見る。最奥はカフェ

中央部は、シリンダーがコンバインドショップの雑貨スペースとカフェを繋ぐピボットメントとなり、CDを陳列する空間をなす。ここは友人である安積 伸&朋子がデザインを行

った。ロンドン在中である彼らとはインターネットで四六時中メールのやり取りとなった。彼らはここをミュージックチューブと呼び、空間の中心軸をなして強力なベクトルを

発する。カフェはDJブースが設置され、夜にはミュージックバーとしての表情を持つ。バイヤス方向のヘアラインに加工されたアルミニウムの壁面は、プロジェクターによって映し出された映像に輝きを放つ。2階は500㎡の面積を持ち、メンズとレディースのアパレルを販売するスペースだ。ここではガラス細工を思わせる繊細なラインで空間を構成し、アートワークとして飯盛雅子がガラスをキャンバスに見立てインクジェットフィルムを使用して奥行き感のある表現を行った。青年期の思い出とインターネットを使ったデザイン、アートワーク。友人たちとのコラボレーションはシームレスな空間と同じく時間も距離をも超え新しい時代を迎えた。

(大塚則幸)

「リステア」データ

工事種別：内装のみ 新築
床面積：1階407.55㎡（うち厨房44.3㎡） 2階 499.22㎡ 合計906.77㎡



ミュージックチューブの中央のアクリル什器



専用入り口からカフェレストランを見る。ミュージックチューブに隣接してDJブースが配されている

工期：2000年7月25日～9月23日
施工協力：照明/ウシオスペース 音響設備/ヒビノ 家具/スタンダード その他・ワイヤシステム/荒川技研工業

営業内容

開店：2000年10月1日
営業時間：午前11時～午後8時（カフェは午前0時まで） 定休日：なし
電話：(078) 321-6611
経営者：(株)ルシェルブルー
従業員：21人 アルバイト3人 合計24人
主な取り扱い商品と単価：レディースウエア・メンズウエア（オリジナル・インポート） アクセサリー 雑貨（インテリア、CDなどを含む）
（カフェ&レストラン）
電話：(078) 327-1040
従業員：サービス14人 厨房7人 合計21人（うちパート・アルバイト9人）
客席数：70席
主なメニューと単価：スープ各種800～ コーヒー600 エスプレッソ500 デザート400

主な仕上げ材料

床：モルタル全ゴテ押さえ樹脂系塗布床材塗布（ケミクリート/ABC商会） カフェ/砂セメント下地大理石貼り（タソス） ミュージックチューブ/鉄骨組みパーティクルボードt15アルミプレートt1.6バ イブレーション張り
壁・天井：軽鉄組みPBT12.5下地寒冷紗パテシゴキ AEP塗装 カフェ（壁）/一部コンクリートブロック t120モルタル押さえ特注タイル圧着貼りおよびGL工

法PBT12.5下地アルミプレートバイヤスHLアルマイト 貼り ミュージックチューブ/鉄骨組みボンデ鋼板 t1.6R加工水性塗装 ステンレスワイヤ床下ターンバックルにてテンション締め
家具：カフェ・テーブル/アルミプレートt10バ イブ

レーションアルマイト処理 ガラス壁/透明ガラス スクリーンFIXt15インクジェットフィルム貼り 什器：木下地パールホワイト塗装アクリルボックス 埋め込み



ベンチ席側よりショップを見返す



2階ショップよりガラス越しに階段を見る



1階入り口から見た吹き抜け階段



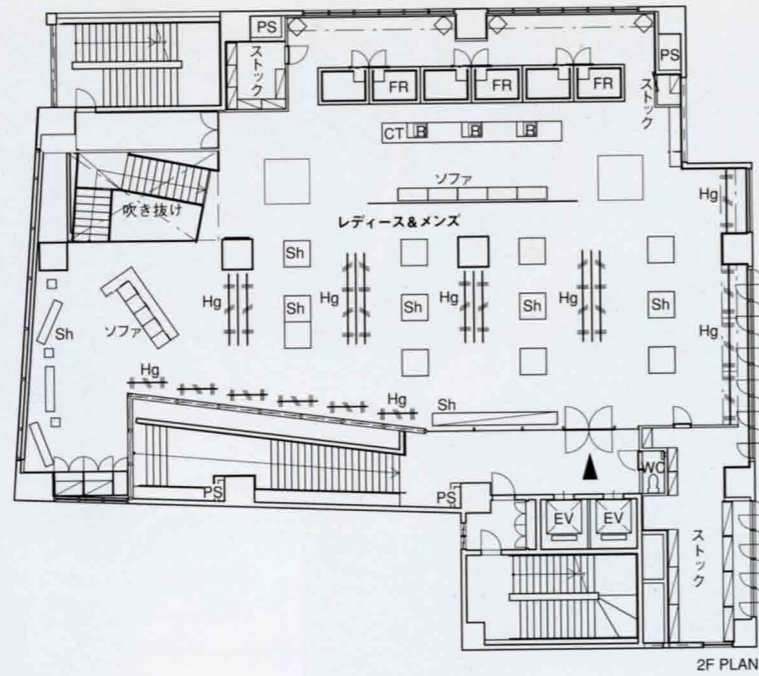
2階階段側より見たレジカウンター。左手ガラスの奥はフィッティングルーム。ガラス壁のアートはデザイン/飯盛雅子



2階ソファ側から見た店内全景。左手奥はフィッティングルーム



フィッティングルーム。白い空間に透明ガラスマットフィルム貼りの扉が並ぶ



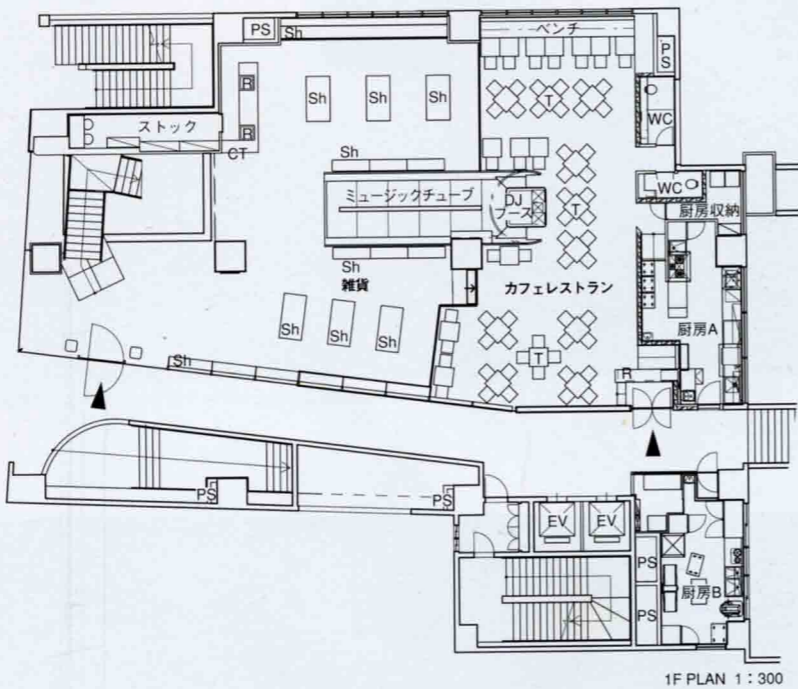
2F PLAN

取材ノート

ルシェルブルーは1986年に神戸でセレクトショップとしてスタートし、95年3月、震災後に新たな「ルシェルブルー」として神戸・ハーバーランド（95年7月号）にオープンした。続いて5月に同じくセンター街（95年8月号）、96年10月にセンタープラザにリミックス店（97年2月号）、97年5月に心斎橋のクリスタ長堀に大阪店（97年8月号）、98年5月に同じくアメリカ村（98年8月号）、98年9月に梅田のディアモールに、と次々と出店し、99年4月には東京・青山（99年7月号）で東京進出を果たした。昨年は2月に神戸阪急百貨店に、8月に京都・河原町のオーバに、そして10月には三宮のトアロードに新規事業としてライフスタイル提案型ショップ「リステア」をオープンさせるに至った。

この「リステア」のスタートにより、これまで「ルシェルブルー」はレディースのみの取り扱いであったが、今回からメンズ、インテリア雑貨、シューズ、そして飲食事業を新たにスタートさせた。社長・高下浩明氏は、「リステア」のようなワンプロデュース・ショップとしては300坪前後が必要だと話す。今後、東京やN.Y.、パリへの出店を視野に入れており、しっかりとしたシステムオペレーションを構築するために、自らが一番コントロールしやすい三宮を新規事業の立地として選んだ。

客層は、これまで「ルシェルブルー」は22～30歳が主であったが、「リステア」は女性客が25～30歳、男性客がそれより少し高い30



1F PLAN 1:300

歳前後と、全体として商品のグレードアップを図っていることが読みとれる。

一方、飲食は、これまで神戸には大人の遊び場が少なかったことから、ジャズ、ソウル、ハウスなどがかかる大人のためのミュージックレストランを目指している。店内にはDJブースを配し、午後7時～午前0時までDJが入る。客層は20～40代と幅広く、夜は客単価が5500円とレストラン色が一層濃くなる。12月10日からは深夜3時までの営業となり、ますます大人の遊び場として浸透するだろう。今秋あたりを目指し、東京出店に意欲的な高下氏。「リステア」としては年商は10億円を目標としている。

〈編集部〉



1階入り口